



くまちゃんつうしん

H28年3月1日発行



韓国より研修です！

昔からの愛読者の方はご存じの事と思いますが、和光福祉会は韓国のメアリー福祉園と姉妹提携を結んでいます。そのお付き合いは長く交流を始めて20年が経過しました。

昨年の話になりますが、島本副理事長が訪韓した際に急遽、交流20周年を記念して職員をはじめ理事の方々に最近の日本の障がい者福祉と和光福祉会の状況、そしてこの20年間の歩みと絆を振り返る講演会が催されました。

皆様方には興味深く講演を聞いていただき、これからの交流を改めて約束をさせていただきました。そして…。

その絆を確かめるように2月24日、メアリー福祉園の理事長をはじめ総勢16名の職員の皆様が研修として来日されました。

当日は寒の戻りでとても寒い朝でしたが、関空に到着されたご一行は、まず熊取療育園に来園、休憩するまもなく熊取療育園の現状や日本の福祉情勢に関する質問などをいただき、熱すぎるほどの向上心を感じました。

昼からは、まず「つばさ」を見学、作品作りの時間という事で牛乳パックのリサイクルの紙すき作業などを見ていただきました。いろんな作品を見ていただいた後、なんと即売会の状態になり、たくさんのお手作りの品をご購入していただきました。

その後、「いっぽ」の見学をしていただきました。ご利用者の仕事の様子はもちろんの事、就労訓練の様子などを熱心に見ておられました。特に就労系の業務に携わっておられるメアリー福祉園のスタッフがたくさんの質問をされていました。

見学を終えたご一行は療育園に戻っていただき、茶道クラブのメンバーと平川理事長のお点前によるお茶の時間となりました。茶道クラブのメンバーのご利用者は緊張の面持ちの中、韓国語であいさつ、たくさんの笑顔の中のんびりとお茶の時間を過ごしていただきました。



見学を終えたご一行は来日される前からとても楽しみにしておられた回転寿司へ夕食に。当法人のスタッフも同行させていただき、スマホの翻訳アプリを駆使してこれまでの難しい話題から一変してワイワイガヤガヤと話も大盛り上がりで異文化交流の時間となりました。

このような機会を今後も積み重ね、支援に携わるスタッフが交流の絆をより強くすることで、日本や韓国の障がいのある人の笑顔がもっと増えればいいなと思った1日でした。



ひまわりドーム出店!

つばさでは、2月20日(土)と21日(日)はひまわりドームに出店してきました。2日ともエアロビック大会でした。全国大会という事で大阪弁以外も飛び交い、とても賑やかです。また、選手の方はレオタード姿で会場を歩かれており、とても華やかです。

例年実施されているそうですが、今回初めての出店のお声掛けを頂いたので、さっそく参加させていただきました。スポーツ競技会のせいか、手作り品目当てで来られる方はいらっしゃらないですが、手に取って興味を持って下さる方はおられ、思いのほか売り上げがありました。

とてもいい2日間となりました。来年もお声掛け頂きたいと思います。



2016

3

予 定 表

1日(火) 南小学校来園

2日(水) 色ワーク

4日(金) オーラルケア

5日(土) ダイアナ Vr

8日(火) 営繕の日

9日(水) 歌体操

10日(木) ハッピーブレイン体操

11日(金) オーラルケア

15日(火) 茶道クラブ

22日(火) ヨーガ

25日(金) オーラルケア

31日(木) 避難訓練

発行所：社会福祉法人 和光福祉会

発行人：平川 輝子 編集人：北村 友隆

TEL : 072-453-5655
FAX : 072-452-9151

E-mail : press@kumacyan.org
HP : <http://www.kumacyan.org/press.php>